
一般社団法人北海道農業法人協会
第29回会員総会資料

令和6年2月21日（水）
ニューオータニイン札幌

一般社団法人北海道農業法人協会 第29回会員総会 議案第1号
令和5年度事業報告及び収支決算の承認について

別紙、令和5年度事業報告及び収支決算について承認を求める。

以上提出する。

令和6年 2月21日

一般社団法人北海道農業法人協会
代表理事長 小椋 幸男

令和5年度事業報告

農業をめぐる情勢

令和5年の本道の気象は、気温がほぼ年間を通じて平年を上回って推移し、多くの農作物の生育は平年より早く進みました。最高気温が30℃以上の「真夏日」の連続観測日数が44日間と過去最高の30日間を大きく更新する猛暑の夏となり、このことにより、白未熟粒の発生による一等米比率の低下や褐斑病の多発等によるてん菜の平均糖分の低下、一部の野菜の発育不良や変形など、品目により品質や収量に大きな問題が生じたほか、家畜の体調の悪化を招き、酪農において生乳生産量が減少するなど、本道の農業生産に広く影響が生じた年となりました。

農業経営をめぐっては、世界的な穀物需給のひっ迫や原油価格の上昇などから、高騰していた飼料や肥料、燃油等をはじめとする生産資材の価格は、ウクライナ情勢の長期化や円安基調の継続などにより高止まりし、生産者は高いコスト負担を余儀なくされているほか、コロナ禍等により需給事情に多大な影響が生じた生乳やてん菜等において、生産抑制の取組が進められ、これまで生産性や品質の向上に向けて努力を重ねてきた酪農経営など本道の生産者が、その力を十分に發揮することが困難な状況が続いている。

また、水田農業においては、半世紀にわたり続けられている、国における転作の助成措置、水田活用の直接支払交付金の交付対象水田等の見直しが進められていますが、畑地化促進事業の予算枠などの問題もあり、その対応に混乱も生じる中、地域や生産者においては、持続可能な水田農業の将来像の明確化が必要とされており、大きな岐路に立たされている状況にあります。

このように本道農業が難しい環境に置かれる一方で、世界の食料需給等をめぐるリスクの顕在化に伴い、国産食料・国内農業の重要性について理解が深まるとともに、SDGsや地球温暖化等への対応として農業における環境負荷低減の取組が一層大切になってきており、国における中・長期の農政の基本的な方向性を示す「食料・農業・農村基本法」の見直しにおいても、とりわけ食料安全保障の確立や環境等に配慮した持続可能な農業への転換などを基本理念に、法改正や施策の具体化に向けた検討が進められています。

こうした国民の期待に応える農業、持続可能な農業経営は、我が国における食料の安定供給に重要な役割を担う北海道が先頭に立って実現していかなければなりません。そのためには、行政や関係団体等の支援・協力も得ながら、地域農業を担う生産者が、これまで培ってきた高い技術力と経営管理能力、さらには、そのネットワークを最大限に生かし、経営環境の変化に適切に対応していくことが必要です。

当協会においても、本道農業、生産者にとって重要な情報を収集・共有し、酪農部会や水田部会なども活用しながら、課題の解決に向けて引き続き全力で取り組んでいくことが求められています。

活動フラッシュ！

■第28回定期総会&農業法人経営セミナー2023

令和5年2月28日(火)、ANAクラウンプラザホテル札幌にて、第28回一般社団法人北海道農業法人協会会員総会を開催いたしました。

会員総会では、令和4年度事業報告として一年間の活動報告を行った後、コロナと付き合いながらセミナー等より多くの活動をしていく旨の説明が南会長よりなされ、すべての議案が承認されました。そして南会長が諸事情により本総会を持って会長をおりられると言うことで、任期の残りを有限会社ドリームヒルの小椋幸男代表が引き受けこととなりました。



農業法人経営セミナー2023は株式会社ファームサイドの佐川友彦氏をお迎えし「農業改善で実現するこれからの農業経営」というテーマで、農業者とは違う目線から、農業経営に関しての問題提起、それに伴う答えの導き方をご教授いただきました。

■連携活動 公益社団法人日本農業法人協会

道協会は今年北海道東北農業法人WEEKの当番県となり3日間に渡り開催をいたしました。1日目のメイン講演では「未来を切り拓く 北海道の食品メーカーの挑戦～存続と発展のために～」をテーマに北海道を代表する食品メーカー、株式会社アイビック食品 代表取締役社長の牧野克彦氏をお呼びして、世間とは逆行する形の施設に対する投資や、今すぐ働きなくなるような福利厚生など、幅広く話を聞かせいただきました。2日目は帯広に場所を移し「第35回国際農業機械展 in 帯広2023」を視察、3日目は江別市の株式会社Kalm角山にて最新鋭の酪農について、株式会社輝楽里では先進的近郊農業について学びました。来年のWEEKは秋田県にて開催を予定しております。

その他日本農業法人協会主催の春季・夏季セミナーや次世代農業サミットに参加して、全国各地の農業者との交流を積極的に行っております。



■部会活動

水田部会は例年通り農林水産省北海道農政事務所、北海道農政部、ホクレン農業協同組合連合会、北海道農産物集荷協同組合にご参集いただいた意見交換会を複数回行っております。そして初めて試みとして講師を呼ぶ形で、茨城県から株式会社百笑市場 代表取締役 長谷川有朋氏を招いての輸出セミナーを行いました。

酪農部会も例年通り複数回意見交換を行いました。道農政部長や、農林水産省の調整官や担当課長など例年とは違った形で、会員の現状や意見を伝える場所を、札幌だけでなく地方でも設けました。その他にも日本農業法人協会の酪農研究会にも積極的に参加し、北海道の意見を積極的に反映するような活動をしています。両部会とも意見や要望を中央にあげる活動も引き続き実施していきたいと考えます。



■セミナー事業の取組み

昨年に続き、リアルとオンライン両方でのセミナー活動を開催しました。改めてオンラインの便利さと、リアルで会うことの大切さ、その場所を提供することの重要さを考えさせられる年となりました。(詳細は後ページの「3 セミナー、研究会、地域ネットワーク等連携活動」をご参照ください)



北海道次世代農業サミットも第5回目となりました。令和5年12月18日(月)、三重県の株式会社浅井農園代表取締役、浅井雄一郎氏を講師にお招きし、全道各地より農業者や関係機関から100名を超える方にご参加いただき、ホテル札幌ガーデンパレスにて「安売りしない農業一生産者が考える適正価値一」をテーマに開催しました。メイン講演では自分たちができる価値の上昇や、異業種との連携など、農業者だけでなくその他の企業においても参考になる経営についてお話しいただきました。サミット後半では、パネラーに株式会社atLOCALの堀田悠希さん、有限会社パインランドデーリィの松村孟さん、コーディネーターに株式会社食農夢創の仲野真人さんをお迎えし、パネルディスカッションしていただき、それを受けた農業者が班に分かれてグループディスカッションを行い、最後にグループより代表を一人ずつ出して発表いただきました。それぞれ活発な意見を発表し、会場は終始熱気にあふれておりました。

会務・活動報告

1 会員 (令和5年12月31日現在)

(1) 正会員 : 287 法人

(2) 賛助会員 : 3 法人

一般社団法人北海道農業会議 公益財団法人北海道農業公社 一般財団法人HAL財団

(3) 北海道農業サポートークラブ会員 : 66 社

1. JA三井リース 株式会社
2. 株式会社 北洋銀行
3. 株式会社 アグリドック
4. 株式会社 ノマド
5. ピーエス 株式会社
6. 株式会社 北海道協同組合通信社
7. 明治飼糧 株式会社
8. 株式会社 北海道アルバイト情報社
9. 株式会社 北海道銀行
10. 株式会社 サングリン太陽園
11. 株式会社 丹波屋
12. シンジエンタジャパン 株式会社
13. 株式会社 ノザワ フラノ事業所
14. 日本曹達 株式会社
15. 税理士法人 池脇会計事務所
16. 北海道日紅 株式会社
17. ファームエイジ 株式会社
18. 松田孝志税理士事務所
19. 菱中産業 株式会社
20. 株式会社 GB産業化設計
21. ホシザキ北海道 株式会社
22. 株式会社 日の丸産業社
23. 税理士法人 アンビシャス・パートナーズ
24. 株式会社 浜口微生物研究所
25. 株式会社 カナテック
26. 北海道信用農業協同組合連合会
27. 農林中央金庫 札幌支店
28. 株式会社 コハタ
29. クミアイ化学工業 株式会社
30. 日本農薬 株式会社
31. 東北容器工業 株式会社
32. 医療法人 共生会 川湯の森病院
33. ロイヤルインダストリー 株式会社
34. 三井住友ファイナンス&リース 株式会社
35. 共栄火災海上保険 株式会社
36. 株式会社 ノースプランズ
37. 税理士法人 薄井会計
38. 株式会社 マイナビ
39. 日産化学 株式会社
40. 税理士法人 小島会計
41. 株式会社 安藤通商
42. アンビシャス総合法律事務所
43. 株式会社 ワイザー総研
44. SucSeed 株式会社
45. 株式会社 大学農園
46. 石屋製菓 株式会社
47. 第一生命保険 株式会社札幌総合支社
48. 第一生命保険 株式会社
49. 株式会社 トーモク
50. ホクレン農業協同組合連合会
51. 第一生命保険 株式会社
52. 株式会社 愛農
53. 甘彩六花 株式会社
54. アイケイ工事株式会社
55. 王子コンテナー 株式会社
56. ユアサ商事 株式会社
57. 株式会社 須田製版
58. 東京海上日動火災保険 株式会社
59. 株式会社 旭創
60. BASFジャパン 株式会社
61. 株式会社 日本旅行北海道
62. 株式会社 バイオマスマリューションズ
63. 北海道エア・ウォーター・アグリ 株式会社
64. 株式会社 フェイガー
65. 株式会社 タイミー
66. フルタ電機 株式会社

2 会議の開催

(1) 総会及び法人経営セミナー

1) 第 28 回会員総会

○開 催 日：令和 5 年 2 月 28 日

○場 所：ANA クラウンプラザホテル札幌

○出 席 者：〔正会員〕285 社中 38 社出席 委任状議決権行使届出書 140 通

○協議事項：①令和 4 年度事業報告及び収支決算の承認について

②令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）の設定について

③令和 5 年度会費の賦課及び徴収方法について

2) 農業法人経営セミナー2023

○タイトル：「農業改善で実現するこれからの農業経営」

○講 師：株式会社ファームサイド 佐川友彦氏

(2) 理事会

1) 第 1 回

○開 催 日：令和 5 年 1 月 27 日

○場 所：かでる 2・7（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）／ZOOM

○主な協議事項：第 28 回総会・セミナー開催について

2) 第 2 回

○開 催 日：令和 5 年 2 月 28 日

○場 所：ANA クラウンプラザホテル札幌（札幌市中央区北 2 条西 1 丁目）

○主な協議事項：理事・監事の選任について

3) 第 3 回

○開 催 日：令和 5 年 3 月 1 日

○場 所：ネストホテル札幌駅前（札幌市中央区北 2 条西 2 丁目）

○主な協議事項：各担当役員・今期事業について

4) 第 4 回

○開 催 日：令和 5 年 3 月 22 日

○場 所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北 5 条西 6 丁目）／ZOOM

○主な協議事項：今季事業、主に WEEK について

5) 第 5 回

○開 催 日：令和 5 年 5 月 27 日

○場 所：かでる 2・7（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）／ZOOM

○主な協議事項：会費等経理関係、今期 WEEK について

6) 第 6 回

○開 催 日：令和 5 年 8 月 17 日

○場 所：かでる 2・7（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）／ZOOM

○主な協議事項：WEEK 反省、下半期事業について

7) 第 7 回

○開 催 日：令和 5 年 11 月 9 日

○場 所：北海道建設会館（札幌市中央区北 4 条西 3 丁目）／ZOOM

○主な協議事項：役員選考進捗等、今期の締め方と来期に向けて

(3) 会長・副会長・事務局会議

1) 第 1 回

○開 催 日：令和 5 年 1 月 11 日

○場 所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 4 マルホビル 8 階）

○主な協議事項：次年度予算・理事会準備

2) 第 2 回

○開 催 日：令和 5 年 5 月 22 日

○場 所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 4 マルホビル 8 階）

○主な協議内容：理事会・WEEK について、事務所移転問題

3) 第 3 回

○開 催 日：令和 5 年 8 月 10 日

○場 所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 4 マルホビル 8 階）

○主な協議内容：理事会、新事務所について

4) 第 4 回

○開 催 日：令和 5 年 10 月 10 日

○場 所：帯広市

○主な協議内容：理事会準備・下半期事業・新体制について

5) 第 5 回

○開 催 日：令和 5 年 12 月 23 日

○場 所：北海道農業法人協会事務局（札幌市中央区北 2 条西 2 丁目 4 マルホビル 6 階）

○主な協議内容：事業報告、新年度事業計画、総会について

(4) 担当役員会

1) 次世代・セミナー・オンライン委員会

i) ○開 催 日：令和 5 年 3 月 9 日

○場 所：オンライン（ZOOM）

2) 総会・WEEK 担当役員会

i) ○開 催 日：令和 5 年 3 月 13 日

○場 所：オンライン（ZOOM）

3) 役員選考委員会

i) ○開 催 日：令和 5 年 7 月 28 日

○場 所：オンライン（ZOOM）

ii) ○開 催 日：令和 5 年 11 月 6 日

○場 所：オンライン（ZOOM）

iii) ○開 催 日：令和 5 年 12 月 22 日

○場 所：オンライン（ZOOM）

4) 女性活動推進委員会

○開 催 日：令和 5 年 10 月 18 日

○場 所：オンライン（ZOOM）

※各担当委員会は上記と別に各理事会前に付属で必ず開催

3 セミナー、研究会、地域ネットワーク等連携活動

(1) のぶし経営塾等

- 1) 第1回のぶし経営塾「農林水産省との意見交換会」
○開催日：令和5年1月12日
○場所：オンライン(Teams)
- 2) 第2回のぶし経営塾「HACCPセミナー」【共催】
○開催日：令和5年1月24～26日
○場所：かでる2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)
○主催：株式会社 SucSeed
- 3) 第3回のぶし経営塾「女性リーダーの話を聴く会－農業を通じた女性が輝く社会－」
○開催日：令和5年1月26日
○場所：札幌駅前ビジネススペース(札幌市中央区北5条西6丁目)／オンライン(ZOOM)
○講師：ウーマンメイク株式会社 代表取締役 平山 亜美 氏(大分県)
○共催：一般財団法人 HAL 財団
- 4) 第4回のぶし経営塾「大地の侍 上映会」【共催】
○開催日：令和5年3月1日
○場所：ネストホテル札幌駅前(札幌市中央区北2条西2丁目)
○主催：一般財団法人 HAL 財団
- 5) 第5回のぶし経営塾「酪農政策に関する農林水産省との意見交換会」
○開催日：令和5年6月2日
○場所：十勝農協連ビル(北海道帯広市西12条南6丁目)
- 6) 第6回のぶし経営塾「コメ輸出に関わるセミナー」
○開催日：令和5年6月17日
○場所：北海道道特会館(札幌市中央区北2条西2丁目)
○講師：株式会社 百笑市場 代表取締役 長谷川 有朋 氏(茨城県)
- 7) 第7回のぶし経営塾「コメの現状と政策課題 意見交換会」
○開催日：令和5年7月26日(月)
○場所：かでる2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)
- 8) 第8回のぶし経営塾「乳価の仕組みと乳代精算書の見方について」【共催】
○開催日：令和5年8月29日
○場所：十勝農協連ビル(北海道帯広市西12条南6丁目)
○共催：十勝酪農法人会
- 9) 第9回のぶし経営塾「農林水産省との意見交換会」
○開催日：令和5年10月5日
○場所：北海道農政事務所(札幌市中央区南22条西6丁目)
- 10) 第10回のぶし経営塾「財務経理集中講座」
○開催日：令和5年11月15～17日
○場所：十勝農協連ビル(北海道帯広市西12条南6丁目)
○共催：一般財団法人 HAL 財団
- 11) 第11回のぶし経営塾「コメの現状と政策課題 意見交換会」
○開催日：令和5年11月21日
○場所：かでる2・7(札幌市中央区北2条西7丁目)

12) 第5回北海道次世代農業サミット

- 開催日：令和5年12月18日
○場所：ホテル札幌ガーデンパレス(札幌市中央区北1条西6丁目)
○共催：一般財団法人 HAL 財団

(2) 地域団体・ネットワーク活動

- 1) 上川管内農業法人ネットワーク「特別研修会」
○開催日：令和5年3月3日
○場所：花月会館(旭川市3条7丁目)
○講師：有限会社営農企画 取締役専務 今城 正春 氏
株式会社 GB 産業化設計 代表取締役 岩井 宏文 氏
- 2) 上川管内農業法人ネットワーク「現地研修会」
○開催日：令和5年8月31日
○場所：株式会社うけがわファーム DEN-EN・東神楽温室園芸

4 交流活動

(1) 国内外交流研修会

- 1) 道内交流研修会：『上川』(上川農業法人ネットワークと共に)
○開催日：令和5年8月31日
○場所：株式会社うけがわファーム DEN-EN・東神楽温室園芸
○参加者：58名
- 2) 国内交流研修会：『福岡・佐賀』
○開催日：令和5年11月26～29日
○場所：久保田農園・豊地の郷・麻生園芸・平田園芸・フェルマ木須
伊万里グリーンファーム・伊都菜彩 他
○参加者：21名
- 3) 国际交流研修会：未開催

5 専門活動

(1) 酪農部会

- 1) 第6回総会
○開催日：令和5年3月1日
○場所：ネストホテル札幌駅前(札幌市中央区北2条西2丁目)
- 2) 北海道農政部との意見交換会
○開催日：令和5年8月30日
○場所：道庁農政部(札幌市中央区北3条西6丁目)

(2) 水田部会

- 1) 第4回総会
○開催日：令和5年6月17日
○場所：北海道道特会館(札幌市中央区北2条西2丁目)

※意見交換会はのぶし経営塾の欄を参照

6 連携推進活動

(1)公益社団法人日本農業法人協会

1) 総会・セミナー

i) 春季セミナー

○開催日：令和5年3月16・17日

○場所：AP日本橋

○講演：「今後の食料・農業情勢と日本農業のあるべき姿～農業法人の果たすべき役割とは～」
東京大学副学長 農林水産省 食料・農業・農村政策審議会会長 大橋 弘氏
「危機から脱出！元専業主婦の経営戦略とは？～絶滅危惧種ハンバーガーチェーン復活のストーリー～」株式会社ドムドムフードサービス 代表取締役 藤崎 忍氏

○分科会：農福連携・みどりの食料システム戦略／酪農研究会

ii) 第45回総会・夏季セミナー

※北海道協会より川口谷理事、全国枠にて日本協会理事に就任

○開催日：令和5年6月15・16日

○場所：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター（東京都新宿区市谷八幡町8番地）

○講演：「中小企業が生き抜くための経営改革と人財育成～DX戦略と社員の意識改革で業績を回復させた町工場の挑戦～」ダイヤ精機株式会社 代表取締役 諏訪 貴子氏

○分科会：政策・マーケティング／酪農研究会

2) 全国次世代農業サミット

i) 第10回

○開催日：令和5年2月20・21日

○場所：沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1）

○テーマ：「攻めの農業の資金調達」「地域資源の活用と投資」

○講演：株式会社もとぶ牧場 代表取締役社長 坂口 泰司氏 他

ii) 第11回

○開催日：令和5年7月11・12日

○場所：福島スパリゾートハワイアンズ（サミット）／福島県内（視察）

○講演：「農業経営を取り巻く環境変化にどう対応するか？震災と復興の地、福島で考える」
うつくしまふくしま農業法人協会会長 株式会社なかた農園 中田幸治氏

○事例発表：有限会社まるせい果樹園 業務部長 佐藤ゆきえ氏

○視察：福島県内農場、関連施設 その他福島第一原子力発電所等

3) 都道府県会長会議および担当者会議

i) 第27回都道府県会長会議

○開催日：令和5年2月16日

○場所：ZOOM

ii) 都道府県農業法人組織事務局担当者会議

○開催日：令和5年4月26日

○場所：主婦会館プラザエフ（東京都千代田区六番町15）

iii) 第28回都道府県会長会議

○開催日：令和5年5月26日

○場所：ZOOM

4) 北海道東北ブロック連携

i) 北海道東北ブロック会議

○開催日：令和5年1月30日

○場所：オンライン

ii) 北海道東北農業法人 WEEK2023in ほっかいどう

○開催日：令和5年7月5～7日

○場所：ホテル札幌ガーデンパレス（札幌市中央区北1条西6丁目）・帯広市・江別市

○テーマ：コロナ禍の先へ繋ぐ、変化に適応した新時代の農業経営の実践を目指して

○講演：「～食の未来は自分たちで切り拓く 先進企業から学ぶ～」
アイビック食品株式会社 代表取締役社長 牧野克彦氏

○事例報告：有限会社ファームトピア 代表 走出邦章氏

○視察：【展示会】第35回国際農業機械展（帯広市）

【酪農】株式会社Kalm角山（江別市）

【田畠園芸】株式会社輝楽里（江別市）

(2) 行政機関・その他

1) 北海道農業・農村振興審議会

i) 令和4年度 第2回

○開催日：令和5年1月30日

○場所：ANAクラウンプラザホテル札幌（札幌市北区北2条西1丁目）

ii) 令和5年度 第1回

○開催日：令和5年8月28日

○場所：TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前（札幌市北区北4条西6丁目）

2) 北海道農業再生協議会

i) 第1回通常総会

○開催日：令和5年7月21日

○場所：道庁7階農政部（札幌市中央区北3条西6丁目）

3) 北海道地域農業特定技能協議会

i) 運営委員会

○開催日：令和5年7月28日

○場所：道庁7階農政部（札幌市中央区北3条西6丁目）

4) 農業経営サポート事業

i) 事業推進連絡会議

○開催日：令和5年3月22日（水）

○場所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル）

ii) 農業経営相談所戦略会議

令和4年度第8回

○開催日：令和5年1月25日

○場所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル）

令和4年度第9回

○開催日：令和5年2月22日

○場所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル）

iii) 北海道農業経営・就農支援センター運営／経営戦略会議

○場 所：札幌駅前ビジネススペース（札幌市中央区北5条西6丁目第二道通ビル）

○開催日：

令和5年度第2回運営会議及び第1回経営戦略会議 令和5年4月26日

令和5年度第3回運営会議及び第2回経営戦略会議 令和5年5月18日

令和5年度第4回運営会議及び第3回経営戦略会議 令和5年6月21日

令和5年度第5回運営会議及び第4回経営戦略会議 令和5年7月19日

令和5年度第6回運営会議及び第5回経営戦略会議 令和5年8月23日

令和5年度第7回運営会議及び第6回経営戦略会議 令和5年9月20日

令和5年度第8回運営会議及び第7回経営戦略会議 令和5年10月25日

令和5年度第9回運営会議及び第8回経営戦略会議 令和5年11月22日

令和5年度第10回運営会議及び第9回経営戦略会議 令和5年12月20日

(3) 事業協賛

1) 創地農業21（ファームエイジ）

第45回グラスファーミングスクール

『持続的な酪農経営のためには何が必要か』

○開催日：令和5年8月30・31日

○場所：新ひだか町 小泉牧場

(4) 事業後援、協力

1) 後援 『JAグループ北海道 農業経営フォーラム つなぐ 農業の今と未来』

○開催日：令和5年11月14日

○主催：北海道信用農業協同組合連合会

○場所：共済ホール（札幌市中央区北4条西1丁目）

2) 協力 日本フードサービス協会 産地見学商談会

○開催日：令和5年8月29・30日

○場所：【視察】十勝管内農場・農協施設等

【商談会】北海道ホテル（北海道帯広市西7条南19丁目1）

令和5年収支決算

自 令和5年 1月 1日
至 令和5年12月31日

貸借対照表

令和5年 12月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	14,359,745	12,964,822	1,394,923
未収金	500,000	1,070,000	△ 570,000
前払費用	0	0	0
立替金	0	0	0
流動資産合計	14,859,745	14,034,822	824,923
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
基本財産合計		0	0
(2) 特定資産			0
特定資産合計		0	0
(3) その他固定資産（敷金）			0
その他固定資産合計	330,000	0	330,000
固定資産合計	330,000	0	330,000
資産合計	15,189,745	14,034,822	1,154,923
II 負債の部			0
1. 流動負債			0
未払金	0	0	0
未払費用	0	0	0
前受金	180,000	160,000	20,000
預り金	0	0	0
仮受金	130,000	100,000	30,000
リース債務	0	0	0
賞与引当金	0	0	0
流動負債合計	310,000	260,000	50,000
2. 固定負債			0
固定負債合計		0	0
負債合計	310,000	260,000	50,000
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産		0	0
2. 一般正味財産	14,879,745	13,774,882	1,104,863
正味財産合計	14,879,745	13,774,882	1,104,863
負債及び正味財産合計	15,189,745	14,034,882	1,154,863

※未収金は未納会員、または納入せず退会した会員の会費です

正味財産増減計算書

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

監査報告

科 目	当年度	前年度	(単位：円)
			増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	8,870,000	8,710,000	160,000
賛助会員受取会費	300,000	300,000	0
HSC会員受取会費	3,449,340	3,400,000	49,340
補助金収入			0
民間助成金収益	4,898,390	2,906,345	1,992,045
雑収益			0
雑収益	11,647	111	11,536
セミナー事業収益	1,471,610	1,218,324	253,286
特別収益	609,750	0	609,750
経常収益計	19,610,737	16,534,780	3,075,957
(2) 経常費用			0
管理費			0
役員報酬	0	0	0
給料手当	5,995,080	7,123,679	△ 1,128,599
法定福利費	234,030	543,275	△ 309,245
旅費交通費	541,003	582,405	△ 41,402
通信運搬費	861,051	527,339	333,712
消耗印刷備品費	316,932	122,534	194,398
賃借料	632,230	132,000	500,230
租税公課	81,050	81,200	△ 150
会議費	2,637,838	2,000,499	637,339
雑費	113,891	158,043	△ 44,152
委託費	462,373	617,870	△ 155,497
貸倒損失	710,000	0	710,000
管理費計	12,585,478	11,888,844	696,634
事業費			0
支払助成金	50,000	270,000	△ 220,000
オンライン推進活動費	322,110	555,610	△ 233,500
酪農部会活動費	10,000	275,700	△ 265,700
水田部会活動費	156,420	424,529	△ 268,109
政策提言活動費	72,620	0	72,620
情報活動費	14,000	60,684	△ 46,684
連携推進費	1,466,399	194,646	1,271,753
セミナー活動費	3,828,847	2,502,518	1,326,329
事業費計	5,920,396	4,283,687	1,636,709
経常費用計	18,505,874	16,172,531	2,333,343
評価損益等調整前当期経常増減額	1,104,863	362,249	742,614
当期経常増減額	1,104,863	362,249	742,614
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,104,863	362,249	742,614
当期一般正味財産増減額	1,104,863	362,249	742,614
一般正味財産期首残高	13,774,882	13,412,633	362,249
一般正味財産期末残高	14,879,745	13,774,882	1,104,863
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			0
指定正味財産期首残高			0
指定正味財産期末残高			0
III 正味財産期末残高			
	14,879,745	13,774,882	1,104,863

令和5年度北海道農業法人協会の会計収支について、その内容を監査した結果、その使途、帳簿、証拠書類等、適正であると認める。

令和 6 年 1 月 12 日

監事

斎藤ファーム

斎 藤 雅 紀

監事

農事組合法人 シレトコイオン生産組合

弦 間 秀 子

一般社団法人北海道農業法人協会 第29回会員総会 議案第2号
令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）の設定について

別紙、令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について決定を求める。

以上提出する。

令和6年 2月21日

一般社団法人北海道農業法人協会
代表理事長 小椋 幸男

令和6年度事業計画（案）

1 新年度事業の基本方針

北海道農業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の景気後退の影響による消費低迷、資源価格の高止まり、過去に例がないほどの高温障害等の異常気象などにより厳しい経営環境にさらされています。飼料の価格は暴騰が続き生産現場の不安は高まる一方であり農業経営に大きな打撃を与えています。また鳥獣被害、担い手の減少、人材不足など様々な局面で難しい問題にプラスして、今年より物流の2024年問題も重なります。このような事からも経営課題は山積しており課題解決への取り組みが待ったなしの状態であるといえます。

当協会は意欲ある農業者の集まりとしてこれまで様々な創意工夫をした活動を開催していましたが、この難関を乗り越えるためにはより実効性のある活動の展開が求められます。活発な専門部会活動を通じての政策提言・意見や要望、経営マインドを高める研修、視察等を行うとともに、各関係機関との情報交換や連携を図り公益的な役割も果たす組織活動を開催し以下に掲げる5点を具体的な活動計画に定めて取り組みます。

（1）経営の強化に資する研修機会の提供と経営サポート

個人・法人や地域が抱える組織・人材・資金・コンプライアンスなど、日々直面する経営課題に対し、将来的な経営方針を決定する上で必要な経営環境に対する情報提供及び、担い手の育成や新たなビジネス機会に関する知識習得など、会員の経営改善、意欲向上に繋がる効果的な研修機会を提供する。また、北海道農業経営相談所とも連携し会員の経営サポートを図る。

（2）人材の発掘・育成

関係機関と連携しながら、これから農業に不可欠なスキルを有する人材の発掘やマッチング機能の強化を図る。また、就農者の決断の後押しに求められる雇用環境の整備への気運を高めるとともに、引き続き各種支援施策の活用を図り、着実な雇用の促進を図る。さらに、担い手や社員にも教育・研修の場を提供し、モチベーションの向上により経営発展に寄与できるようしていく。

（3）会員ニーズに対応した情報の提供、共有、政策発信

農業や地域の創生に向けた地域ネットワークやそれに準ずる団体の活動を支援し、役員が中心となって各地域、業種に応じた会員法人の運営実務の実態を把握する。個々の関心や進度に応じて無理なく参加できる段階的な参加ステージを考慮し、オンラインも活用したリモート研修の実施、関係機関やサークル会員などと連携し円滑で開かれた活動環境を実現する。さらに、消費者や関係機関との信頼関係向上を図り、必要な政策提言を協議し、要求実現を目指す。

（4）女性の社会参画で地方創生

女性農業者が、農村・農業・食を守り地域住民や消費者とのつながりを豊かに育み、生産する生活者として果たしている役割を正当に評価し、女性の発想、視点を地域の核となるべき会員の経営や地域運営に反映させ、農業に新しい風を吹き込むために女性の活動の場を整える。

(5) 組織づくりと会員拡大

道内の農業者の中には協会の存在や取組を知らない人も多く、道庁、農業協同組合組織、各地域の行政機関や組織、HAL財団、HALGREEN、サポーター企業会員と連携し積極的なPRに努める。各地域の任意法人組織については、農業や地域の創生に向けた地域ネットワークの活動として支援をすると共に当会の地域支部としての役割を担うことを目指す。これにより会員新規入会を促進し組織を拡充する。

2 事業計画

(1) 会議の実施

1) 会員総会ならびに農業法人経営セミナー2024の実施

総会とともに年に一度、全道から会員が一堂に会するこの機会を生かし、学識者、企業経営者等から今後の農業経営に求められる経営手法に関する研鑽を図る。

2) 理事会ならびに担当活動の実施

理事会等での決定事項や外部からの要請事項への対処のほか、会員が求める情報にきめ細かな対応を図るため、理事及び会員有志の希望による「担当制」による運営を行う。

イ) 会長・副会長会議の開催

随時

ロ) 理事会の開催

年3回以上

ハ) 担当役員会の開催

随時

二) 監事会の開催

年1回

(2) 部会・専門活動の展開

1) 政策提言委員会

北海道の農業に及ぼす影響が他府県よりもより深刻な問題として顕在化してきており、今後これらの課題解決のために全力で取り組むために、国に対して政策提言を行うための活動を実施する。

2) 専門部会の活動

従前からある水田・酪農部会の活動をより活発化するとともに、畑作・青果に関しての活動も行うための専門委員会を設置する。

3) 女性参画委員会の実施

女性が参加しやすい組織するために必要な事項を協議し、女性の発想、視点を取り入れた組織運営、さらにはそれらの効果を各会員法人の経営に反映させていくための活動を関連団体との連携を取りながら実施する。

(3) セミナー&イベント活動

1) のぶし経営塾の展開

農業政策に対する情報や経営の土台部分に相当する問題（財務、人事労務、法務等）、また、6次産業化を含む技術、マーケティング、組織管理、リスク管理、経営継承、地域問題に加え、将来的な北海道農業を取り巻くエネルギー資源に対する課題、輸出を含む海外展開など、会員が抱えるあらゆる問題や北海道農業の展望に対して課題を共有し、解決のヒントを探る研修会や会員が運営する農場での現地視察等を実施する。

2) 北海道次世代農業サミット

若手経営者や次世代の担い手候補が情報交換し、切磋琢磨し合えるイベントを開催する。また、イベントを通じ、若い世代の会員の協会活動参加を促すと同時に、異業種会員や関係機関にとっての交流機会と勉強の場を提供する。

3) 30周年記念行事の開催

2025年の総会が「第30回」になるため、例年よりも大きな規模の農業法人経営セミナーを、実行委員会を立て企画する。

4) 北海道・東北農業法人WEEKの共催

北海道並びに東北6県の法人協会により開催している『北海道・東北農業法人WEEK』は今年秋田県での開催となる。普段交流の少ない東北生産者との交流が持て、視察を行える場であるので、道協会会員にも積極的な参加を促す。

(4) 交流活動の展開

1) 道内・国内・海外視察交流会の実施

会員経営者や従業員の懇親を深めるとともに、領域にとらわれることなく、北海道農業の将来に参考となりうる国内外の状況について学ぶ。

(5) 人材確保・育成活動の実施

1) 担い手の育成強化

農業経営者の育成は大きな課題であり、企業的経営者の集まりである協会が果たすべき期待も大きい。当協会として各会員が指定する担い手を経営者としての育成する仕組みを構築し、各研修会への参加費補助や交流会の実施などを行う。

2) 人材確保活動へのサポート

イ) 大学、専門学校等の教育機関ならびに求人業務を手掛けるサポータークラブ会員との連携により、農業を目指す多様なスキルを有する人材の発掘や、法人情報や現地確認の機会を提供し、農場側のニーズを踏まえたマッチングを促進する。

ロ) 全国農業会議所や日本農業法人協会が実施するインターンシップ制度を活用しつつ、道内大学や専門学校、協力法人、地域と連携した独自展開を検討し、意欲ある学生が農業やアグリビジネスを研修できる環境を整備する。

ハ) 外国人技能実習等の積極的活用を行えるように情報提供や勉強する場を提供する。

(6) 組織・情報基盤の整備・充実

1) 協会活動の発信

各種会議や研修活動、経営情報等を周知する。ホームページに会員限定でセミナー等のアーカイブ等を掲載しで情報共有するとともに、新聞や雑誌などの媒体の協力も得ながら積極的な“見える化”の推進を図る。

また、会員へ情報提供方法の最適化し一層の情報伝達を実現するため、従来から実施しているFAXや郵送による情報提供のほか、メール環境ない会員法人に働きかけ、メールアカウントの取得やSNSの利用方法の周知・徹底を図る。

2) 新規会員入会の促進

一連のセミナー等の協会活動や北海道農業会議をはじめとする行政機関などを通じた幅広いPR活動により、新規会員の入会を強力に推進していく。また、北海道農業の活性化に意欲ある企業へのPRを進め、サポートークラブ会員への加入を図る。

3) サポートークラブ会員との交流

連携を促進し、農業経営基盤に不可欠な人脈形成やノウハウ・資金の誘導を図るとともに、ビジネス開発などにつながる対話や情報取得にも積極的に取り組む。オンライン交流も活用し、新技術や商品の紹介等、営業促進環境を提供する。

(7) 連携の推進

1) 行政や関係機関等との連携推進

北海道農業再生協議会の会員活動や北海道農業経営相談所の活動に加え、政策、制度、助成、マーケティング情報等の多様な情報の安定的な取得に向け、国や道など関係機関等との連携を図り、イベントに対する共催・後援・協力をう。

また、農業の基層をなす農協系統との情報交換を通じ、地域における法人経営の支援や安定化に資する環境づくりを促進する。

2) 地域の法人ネットワークへの協力

内外のネットワークを活用し、会員の派遣による地域法人交流等への支援、サポートー企業との交流促進、その他、会員はもとより地域や法人グループのニーズに応える各種勉強会等の開催に対して協力をう。

イ) 各地域ブロック単位での法人交流を図る「法人セミナー」の開催（各所）

ロ) 各地域でのネットワーク化に対する活動への協力

ハ) 各地域でネットワークの役割を担う団体との連携協力

3) 公益社団法人日本農業法人協会との連携推進

公益社団法人日本農業法人協会と連携して、北海道では入手困難な情報の収集や国への政策提言、全国版次世代サミットやファーマーズ&キッズフェスタを通し全国の農業経営者との交流を行い、当協会会員のより一層の経営向上や革新を促進する。

令和6事業年度収支予算（案）

1月1日～12月31日 (単位：円)

大科目	中科目	R6年度	R5年度	摘要		
		予算(A)	予算(A)			
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
1) 受取会費						
正会員受取会費	8,700,000	8,520,000	180,000	3万円×290会員		
賛助会員受取会費	300,000	300,000	0	10万円×3会員		
HSC会員受取会費	3,500,000	3,500,000	0	5万円×70会員		
2) 補助金収入			0			
民間助成金収益	3,150,000	4,100,000	-950,000	日本公庫・HAL財團・農林中金		
3) 雜収益			0			
受取利息	0	0	0			
セミナー事業収益	3,500,000	3,600,000	-100,000			
雑収益	0	0	0			
広告収益	0	0	0			
経常収益計	19,150,000	20,020,000	-870,000			
(2) 経常費用						
1) 管理費						
役員報酬	0	0	0			
給料手当	7,000,000	7,300,000	-300,000	事務員人件費(2名分)		
法定福利費	400,000	400,000	0			
通信運搬費	700,000	550,000	150,000			
会議費	1,000,000	2,200,000	-1,200,000	総会・理事会		
旅費交通費	600,000	620,000	-20,000			
消耗印刷品費	300,000	300,000	0	事務備品		
光熱水料費	0	0	0			
賃借料	1,400,000	140,000	1,260,000	事務所賃借料		
租税公課	100,000	70,000	30,000			
雜費	150,000	0	150,000	振込手数料・交際費		
委託費	800,000	1,000,000	-200,000	会計事務所、須田製版他		
管理費計	12,450,000	12,580,000	-130,000			
2) 事業費						
オンライン推進活動費	400,000	500,000	-100,000	オンライン会議・セミナー		
酪農部会活動費	300,000	300,000	0			
水田部会活動費	300,000	300,000	0			
専門委員活動費	300,000	400,000	-100,000			
情報活動費	400,000	400,000	0	新農業人フェア等出展補助		
連携推進費	500,000	1,500,000	-1,000,000	地域ネット・Week連携		
セミナー活動費	4,500,000	5,750,000	-1,250,000	財務集中		
雜費	300,000	300,000	0			
事業費計	6,700,000	9,450,000	-2,750,000			
経常費用計	19,150,000	22,030,000	-2,880,000			
当期経常増減額	0	-2,010,000	2,010,000			
2 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計						
(2) 経常外費用						
経常外費用計						
当期経常外増減額			0			
税引前当期一般正味財産増減額	0	-2,010,000	2,010,000			
当期一般正味財産増減額	0	-2,010,000	2,010,000			
一般正味財産期首残高	9,072,633	11,082,633	-2,010,000	前期繰り越し		
一般正味財産期末残高	9,072,633	9,072,633	0			
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額			0			
指定正味財産期首残高			0			
指定正味財産期末残高			0			
III 正味財産期末残高	9,072,633	9,072,633	0			

令和6年度会費の賦課及び徴収方法について

別紙、令和6年度会費の賦課及び徴収方法について決定を求める。

以上提出する。

令和6年 2月21日

一般社団法人 北海道農業法人協会
代表理事長 小椋 幸男

令和6年度会費の賦課及び徴収方法

1. 会費

(1) 正会員	年会費 30,000円
正会員（新規就農）	年会費 10,000円
(2) 賛助会員	年会費 100,000円
(3) サポータークラブ会員	年会費 50,000円／口

2. 賦課対象会員

全会員とする。ただし、11月1日以降に入会した新規会員は、その年次の会費について免除とする。

3. 会費振込先

- (1) 納入期日 令和6年5月31日
- (2) 振込手数料 会員の負担とする。
- (3) 取扱金融機関

■ゆうちょ銀行

口座番号 02760-8-100360
一般社団法人 北海道農業法人協会
※請求書とともに郵便払込用紙を同封する。

ゆうちょ銀行に他の金融機関からの振込用口座番号

店番号 279
当座 口座番号 0100360

■北海道信用農業協同組合連合会 本所

金融機関番号・店舗番号 3001-820
普通 口座番号 1426306
一般社団法人北海道農業法人協会 会長 小椋幸男
(イッパンシャダンホウジンホッカイトウノウキヨウホウジンキョウカイエヨウオグラユキオ)

理事・監事の選任について

本会定款第22条の定めにより、理事（3名以上25名以内）及び監事（3名以内）の選任を求める。

以上提出する。

令和6年 2月21日

一般社団法人北海道農業法人協会
代表理事長 小椋 幸男

サポータークラブ会員より



農業法人さまの課題やニーズに応じた提案を行い、北海道農業をサポートします！



経営分析
労務・税務等相談
農業経営フォーラム・セミナー
融資
ファンド
ビジネスマッチング・商談会

詳しくは、お近くのJA窓口、またはJA北海道信連農業融資部（011-232-6027）までお問い合わせください。

株式会社 ワイザー総研

代表取締役 須川 清一

技術士【農業部門（農村地域計画）・総合技術監理部門（農業部門）】

経営士【経営部門】、MBA【経営管理修士】

酪農学園大学院博士課程在籍

〒063-0814 札幌市西区琴似4条1丁目1番15-910

TEL 011-614-0605 FAX 011-614-0605

E-mail wisersugawa@gmail.com

<https://wiserokken.com/>

代表番号 090-8635-3495

“フードビジネスコンサルタント”

☆自社商品の販売強化のためのマーケティング戦略の策定、6次産業化の経験が豊富

☆経営（診断・分析・戦略・計画・改善）等

☆コンサルティングモットー

- ・顧客を満足させることが第一
- ・成果を得るべき基本的な取組を着実に進める
- ・ともに考え計画し、実行をサポートする



植物の免疫力向上に

バイオスティミュラント

オールマイティ
リダバイタル

花・実ものに
アルガミックス

養液土耕・苗・直播に
フルボディ

北の大地を21世紀に活かす
(株)日の丸産業社

TEL: 011-862-7471 FAX: 011-863-4480



【お問合せ先】

株アグリドック 東京オフィス

TEL 03-5216-6620



【お奨めの有機肥料】

品名	形状	N	P	K	備考
HAL有機741	ペレット	7	4	1	有機由来窒素100%含有
HAL有機825	ペレット	8	12	5	有機由来窒素50%含有
ADオーガニック662	ペレット	6	6	2	有機JAS適合資材
地枸有機エキス	液肥	3	1	1	有機JAS適合資材
粒状かきエース	粒状	アルカリ46%			粒状カキガラ
かきエースフミン	粒状	アルカリ41%			カキガラ+腐植酸10%
サニーオイスター	粒状	アルカリ44%			カキガラ+地枸有機エキス5%



持続可能な農業をデザインする

サクシード株式会社
<https://www.sucseed.co.jp>



GLOBAL G.A.P.



●農業・酪農を応援する月刊誌・日刊紙・書籍を発行しています●

世界の酪農を知り、世界の
酪農とともに前進しよう！

農業をリードする
北海道の専門誌

農政・JA等の動向や情報
を電子版で迅速に提供

DAIRYMAN
ミルカントリー
北海協同組合通信

デーリィマンが厳選した酪農用品
デーリィマン社 事業販売部
FAX.011-271-5515
フリー ダイヤル **0120-369-037**
※土・日・祝日は休業です。※ホームページからもご注文が可能です。

デーリィマン社
株式会社 **北海道協同組合通信社**

お問い合わせは下記へ
011(209)1003 FAX 011(271)5515
E-Mail:kanri@dairyman.co.jp
<https://dairyman-ec.com/>
※ホームページからも雑誌・書籍の注文が可能です。

スキマバイトサービス
Timeeなら 農作業や選果場の働き手がすぐ見つかる！

すぐに人手が集まる
前日の求人掲載や、中山間地域でもワーカー確保実績多数！
※登録ワーカー数は2023年10月現在

必要な時だけ1時間から
午前中だけ、農繁期だけなど最短1時間から求人掲載可能。

引き抜き自由 長期人材確保
お気に入りワーカーと直接交渉し、御社の定番人材として長期採用OK！なんと、引き抜き手数料は無料！

握載費用0円! 初期費用0円! 

月額費用0円! 



微生物が住みやすい土づくり資材

糀殻くん炭ペレット

連作障害
対策

土壤病害
対策

ケイ酸
含有

株式会社大学農園

本社 〒060-0006 札幌市中央区北6条西16丁目 TEL 011-631-1556
ふらの営業所 〒076-0007 富良野市南町5-38 TEL 0167-22-8700
はこだて営業所 〒041-0812 函館市昭和4丁目39番30号 TEL 0138-86-5314



規格：粒形 4mm 18ℓ

大學のタネ

農業お役立ち情報&商品情報を発信中！

無料で農機具のリース見積依頼！



経営に役立つ商品情報を配信

オンラインでの説明会やご相談！

中古農機の買取査定！



友だち登録は簡単2ステップ！

利用方法 ①上の二次元バーコードを読み込む
②友だち追加ボタンをタップ！
お得な情報・嬉しいキャンペーンも続々配信予定



KYOKUSO
株式会社 旭創

〒078-8214
北海道旭川市4条通22丁目5-182
TEL 0166-37-5858
FAX 0166-37-5833
<https://kyokuso-inc.com/>



パッケージデザインをはじめ、包装・梱包資材などを幅広く取り扱う会社です。
旭川を中心に全道各地のお客様をフォローさせていただいております。
「どう包装すればいいの?」「オリジナルデザインを考えたい」などお客様のご要望をカタチに変えます。ぜひお気軽にお問い合わせください。

魅力的な世界へひとっ飛び

旅の想いを

日本旅行 NIPPON TRAVEL AGENCY HOKKAIDO 北海道 本社 011-208-0150 釧路支店 0154-99-9460 旭川支店 0166-26-0401 函館支店 0138-62-3770 札幌支店(法人) 011-208-0170 帯広支店 0155-23-9294 小樽支店 0134-33-4455 南1条メテオ観光センター(店頭) 011-208-0171 札幌支店(教育) 011-208-0176 北見支店 0157-23-2228 苫小牧支店 0144-32-6467 (WEB) 011-219-6130



永続的な農業と、安心安全な食生活のために。

株式会社 コハタ

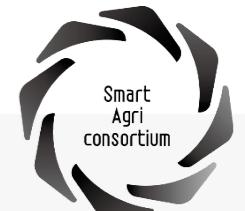
本社(旭川) Tel 0166-48-0136 带広営業所 Tel 0155-29-1151
札幌支店 Tel 011-862-7861 道南営業所(函館) Tel 0138-49-3851
道北営業所(旭川) Tel 0166-48-2868 岩見沢営業所 Tel 01267-4-2525
札幌営業所 Tel 011-862-7411 北見営業所 Tel 0157-23-7661
俱知安営業所 Tel 0136-22-1186 コハタホームページは
こちらのQRコードから




SAc会員の「つながり」で実現する制度

「農業」をキーワードに生産者と企業、団体などが「つながる場」となることを目指しているのがスマート農業共同体(SAc:サック)です。会員限定の好評企画「SAcモニター支援制度」は、生産者で構成される一般会員に、法人会員などが提供する農業資材やサービスのモニターとなっていただくことを条件として、SAcが使用に係る諸経費を助成し、費用負担無くご使用いただけるというものです。

ご興味ございましたら、右のQRコードより詳細をご確認のうえ、是非ご入会ください！！



SAcモニター支援制度

SAc会員限定

お問い合わせ

スマート農業共同体(運営事務局:株式会社サングリン太陽園 担当:鈴木)
TEL 011-892-6281/Mail t.suzuki@sun-green.co.jp

北海道農業を応援します！

日本の食を支える農業者の皆様を融資や多様な経営支援サービスにより応援します。
詳しくはお近くの道内各支店農林水産事業までご相談ください。

支店	所管地域	所在地(お問い合わせ先)
札幌支店	空知・石狩・後志・胆振・日高・渡島・檜山 上川・留萌・宗谷	札幌市中央区北1条西2-2-2 北海道経済センタービル4階 TEL 011-251-1261
北見支店	オホーツク	北見市幸町1-2-22 TEL 0157-61-8212
帯広支店	十勝・釧路・根室	帯広市大通南9-4 帯広大通ビル3階 TEL 0155-27-4011



日本政策金融公庫

農業・食産業の持続的発展、地域活性化を支援

北洋銀行は、お客さまや地域の多様な課題の解決に向け最善の提案で、北海道の強みである農業・食産業を全力で応援します！



北洋銀行

お問い合わせ先：地域産業支援部
札幌市中央区大通西3丁目7番地
電話(011)261-1321 FAX(011)261-1356



＼ 北海道で「たのしくはたらく」をいっぱいに ／

アルバイト・パート募集

シゴトガイド

道内全エリアをカバーする、地域に根ざした総合求人メディア

正社員募集

シゴフ.キタ

正社員志向の高い、
北海道で働きたい人のための
転職・就職・適職求人メディア

新卒採用

シゴフ.キタ 就活

地元・北海道で就職したい
学生のための就職情報メディア

HAJ 株式会社 北海道アルバイト情報社 TEL: 011-223-3912 Email: info@haj.co.jp

北海道銀行では、専門部署「アグリビジネス推進室」を設置し、農業経営や金融アドバイス、6次産業化や付加価値づくりの支援、異業種の農業参入支援等、農業分野・食関連分野に関する様々なサポートを行います。



北海道銀行



お問い合わせ先

株式会社 北海道銀行 アグリビジネス推進室

TEL : 011-233-1066 FAX : 011-231-6998

100 + 1

プラス



創業100年、その先の+1。

プラス

これからも、印刷・企画・デザイン・WEB・動画・イベントなど多様なメディアで「お客様の理想」に「+1」の価値をご提供し続けます。

TOTAL PRINTING

株式会社 須田製版
<https://www.suda.co.jp>

●札幌本社 〒063-8603 札幌市西区二十四軒2条6丁目1-8 TEL.011-621-1000 FAX.011-621-1500
●旭川支社 〒070-8045 旭川市忠和5条8丁目3-1 TEL.0166-62-2266 FAX.0166-61-8818
●釧路支店 ●苫小牧支店 ●東京支店 ●滝川営業所 ●北見営業所

グループ会社
有隣会社 シグナル
芸能中央広報

